

2. 人間とは

目的をもって創られた

創世記1章27節

「神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。」

「1. 神とは」でみたように、神様はすべてを創造された方です。人間をも創造されました。神様は孤独だったからとか、ただ何かをしたかったから人間を造ったわけではありません。神様は、あふれる愛を持って人間を造られました。神様は良いお方なので、素晴らしいものをわかち合うために、人々を造ったのです。それはまた、神様と個人的な関係をもち、私たちが皆、神様の家族として共にいることができるためです。神様ご自身を喜び、この世で良い働きができるように私たちを創造されたのです。なぜならそれは、神様の愛が私たちにあふれているからです。人類全体としても、個々としても、私たちは偶然に存在する者ではなく、目的を持って造られているのです。

創世記1章31節

「神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。」

私たちが住んでいる世界、宇宙までも、すべては人間のために造られました。この世界が「非常に良い」とされた最後の仕上げとして私たち人間は造られたのです。聖書には、人類最初の両親、アダムとエバについての詳細が書かれています。アダムとはユダヤの言葉で「人」を意味します。そして、エバとは「全ての母」を意味します。それは、私たちを含め、全人類はアダムとエバに続く子孫だからです。

神様はエデンという場所を造られました。それは、子供たちが神様と一緒に暮らす最初の場所として備えられた楽園でした。エデンの園では、アダムとエバは神様と素晴らしい完全な関係を持っていましたが、それは長くは続きませんでした。

すべてのものが造られたとき、それらは良い状態で、人間も神様との間にも完全な関係がありました。ところが今日、世界は多くの問題と災難で満ちていて、良くないものばかりであふれています。それは人間の心についても同じです。つまり、私たちの状態は、最初の「非常に良い」ものではないのです。過去に起こったある出来事が、現在私達が住む不完全な世の中の状態をもたらしました。

創世記2章16-17節

「神である主は、人に命じて仰せられた。『あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べて良い。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。』」

人類に対する神様の愛には、自由意志というギフトが含まれていました。もし人が強制的に神様に従うように造られたなら、心から神様を選ぶことができないロボットになってしまいます。選択の自由はエデンの園に備えられた木々によって表されました。人が実りを楽しむために、選択できる多くの樹木のうち、

2つの特別な木がありました。「いのちの木」(人に永遠のいのちを与える実)と、「禁断の木」(霊的な死、そして最終的には肉体の死をもたらす実)というものです。

創世記3章4-6節

「そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。」

神様を拒絶したサタンという存在は、蛇の姿になって現れ、「禁じられた木は、より素晴らしい木である」と、アダムとエバを説得しました。それを食べると、彼らはそれまで無関心であった「悪」というものについて知ることができるからだ、と言ったのです。「賢くなれる」つまり悪について知ること―は父なる神様の正しい基準に従うよりも望ましい、というサタンの誘惑に負け、アダムとエバは禁じられた木の実を食べてしまいました。するとすぐに、彼らは神様の愛と信頼を裏切ってしまったことに気付きました。恥ずかしさゆえに、彼らはやってしまったことを神様に隠そうとしましたが、神様はすべてをご覧になることができ、すべてをご存知でした。神様は彼らのもとに来ましたが、恥じる思いから彼らは見られたくありませんでした。完璧だった関係は壊れてしまいました。

神様とは 完璧で、聖く、義(正しい方)です。(「1.神とは」を参照)そのため、不完全、不義(正しくない状態)、また不純さというようなものからかけ離れています。私たちが共にいるようにと造られた聖なる家族は、痛みを伴う形で分け隔てられてしまいました。アダムとエバはエデンの園を去らなければならず、人間と創造主である父との間には埋めることができない亀裂が入ってしまいました。神に罪を犯した最初の両親から生まれた世々に渡る子供たちは皆、「人の墮落」と呼ばれる、神様と分離された状態の中に生まれてきました。これは私たち全ての人間が父なる神様から離れており、もともと意図されていた神様との関係を持つことができないことを意味します。

けれども、神様は私たちと離れている状態をよく思っておられないので、アダムとエバに時を超えて変わらない約束を与えてくれました。ふさわしい時に、救い主をこの世に送ってくださる、という約束です。神様は子供たちを見捨てることはなさいません。神様は目的を持って私たち一人一人を創造なさっているのです。聖書は、それぞれの人は人類の歴史の中で生きるべき時間と場所、そして神様を求めるのに十分な光が与えられていると教えています。神様の助けによって、与えられた目的に沿って生きることができます。それは、家族、友人、コミュニティ、国、世界において、私たち自身、また周りのすべての人にとって良いものです。

私たちは、まだ墮落した世界の状態にいます。「3.罪とは」で、そのことについてみていきましょう。

